

子ども・子育て支援事業計画

平成 28 年度進行管理

及び中間見直し（案）

目次

1	趣旨・概要	1
2	推計人口	3
3	量の見込みと確保の方策	
1.	教育・保育	6
2.	一時預かり事業	
	（1）在園児対象型	8
	（2）在園児対象型以外	10
3.	時間外保育事業	12
4.	利用者支援事業	14
5.	放課後児童健全育成事業（児童育成クラブ）	15
6.	子育て短期支援事業	18
7.	乳児家庭全戸訪問事業	20
8.	養育支援訪問事業、要保護児童等支援事業	21
9.	地域子育て支援拠点事業	22
10.	病児・病後児保育事業	24
11.	子育て援助活動支援事業	26
12.	妊婦健康診査	27
13.	実費徴収に係る補足給付を行う事業	28
14.	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	29

1 趣旨・概要

(1) 子ども・子育て支援事業計画とは

平成27年4月の子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、子ども・子育て支援給付にかかる幼児期の学校教育や保育、及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の実施に関する確保等を図るため、下記事業について平成27年度から5年間の実施内容を定めたもの。

子ども・子育て支援事業計画 掲載事業一覧

	NO	事業名	教育・保育提供区域	
教育・保育	1	1号認定区分（3-5歳、教育のみ利用）	介護保険計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域（27圏域※）を統合して設定する8区域	
		2号認定区分（3-5歳、保育の必要性あり）		
		3号認定区分（0-2歳、保育の必要性あり）		
地域子ども・子育て支援事業	2	一時預かり事業	介護保険計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域（27圏域※）	
	3	時間外保育事業	介護保険計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域（27圏域※）	
	4	利用者支援事業	行政区	
	5	放課後児童健全育成事業（児童育成クラブ）	市全域	
	6	子育て短期支援事業	ショートステイ	市全域
	7	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）	行政区	
	8	養育支援訪問事業・要保護児童等に対する支援に資する事業	行政区	
	9	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）	市全域	
	10	病児・病後児保育事業	市全域	
	11	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）	市全域	
	12	妊婦健康診査	市全域	
	13	実費徴収に係る補足給付を行う事業	—	
	14	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	—	

計画内容は、各事業ごと、提供区域ごとに、利用者のニーズ量「量の見込み」、その提供体制の確保の内容「確保方策」及びその実施時期を定めている。

また、計画策定にあたっては、事業の利用実績やその利用意向、子どもとその家庭を取り巻く実情等を把握するため、保護者に対する調査（ニーズ調査）を実施し、国が示す手引きに基づき「量の見込み」を推計した。

なお、この計画は「子ども輝き未来プラン」の個別計画として、熊本市子ども・子育て会議（現児童福祉専門分科会）において審議したもの。

(2) 見直しの必要性

計画では、「ニーズ量が増加し、計画における確保方策との不整合が生じた際には、必要に応じて適宜見直しを図る」こととしており、計画期間の中間年にあたる今年度、国の指針及び作業の手引きに基づき見直しを行うもの。

見直しに当たっては、平成27年度以降の実績を踏まえ、推計児童数やニーズ量・供給体制の変化を検証し、必要な見直しを行う。

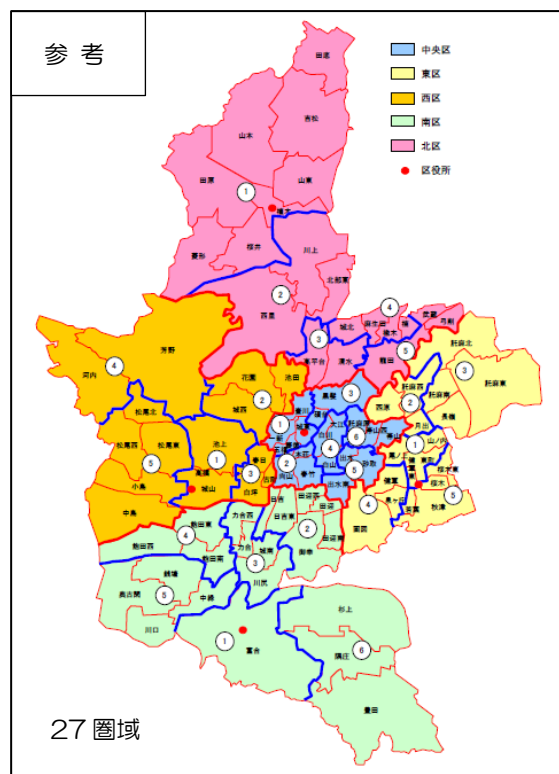
(3) 見直しの方法

①見直しの要否

- ・実績値と量の見込みと比較し 10%以上の乖離があるなど、実績値が大きく乖離している場合、原則として見直しが必要（国の手引き）。
- ・実績値と量の見込みと比較し 10%以上乖離している場合に該当はしないが、独自の判断により、見直しを行う。

②見直しの手順

- ア. 実績値の把握
- イ. 「実績値」と「量の見込み」との比較
- ウ. 要因分析及び補正

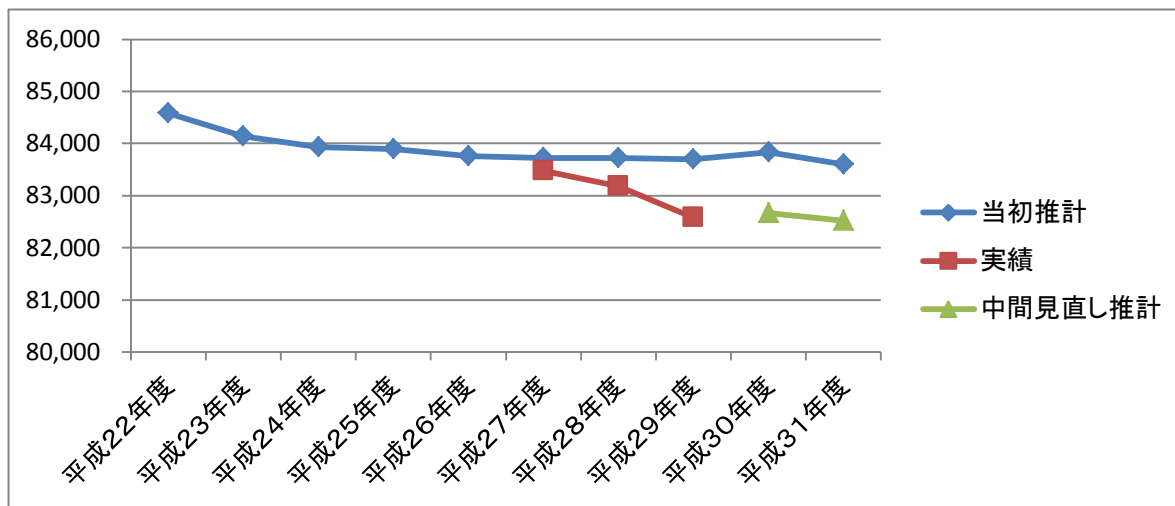


2 推計人口

当初計画時は、コーホート変化率※を用いて推計した。

今回の中間見直しにあたり、平成 29 年度までの住民基本台帳の実績値の推移を見たところ、市全体としては大きな乖離はないものの、教育・保育の提供圏域ごとでは、当初推計と比較し、増加あるいは減少している圏域もあったため、圏域ごとの実績の推移を踏まえ、平成 31 年度までの児童数を改めて推計する。

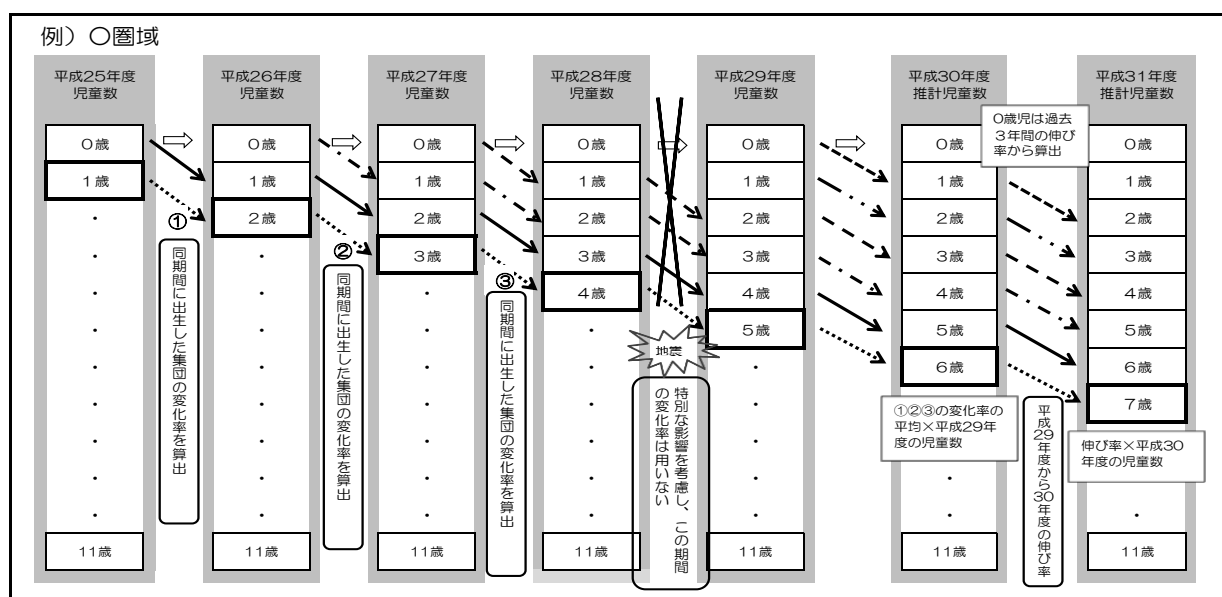
(1) 人口の推移（0歳から11歳の人口の推移）



(2) 推計方法

今回の見直しでも、コーホート変化率を用いて算出した。ただし、平成 28 年度から平成 29 年度は、熊本地震による特別な影響を考慮し、算定の対象としない。

推計は、熊本市を 27 圏域に分けそれぞれで算出し、全市分を積み上げた。



※コーホート変化率法とは、あるコーホート（同時出生集団）の一定期間における人口の変化率に着目し、その変化率が対象地域の年齢別人口変化の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を算出する方法。

(3) 全市及び区ごとの推計人口

全市

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	6,920	6,898	6,837	6,886	49	6,770	6,809	39	6,707	6,629	-78	6,643	6,623	-20	6,578	6,623	45
1歳	7,073	6,936	6,982	7,014	32	6,923	6,939	16	6,852	6,860	8	6,786	6,696	-90	6,721	6,690	-31
2歳	7,077	7,039	6,919	6,870	-49	6,963	6,931	-32	6,895	6,857	-38	6,831	6,806	-25	6,765	6,741	-24
3歳	7,106	7,057	7,036	6,974	-62	6,913	6,847	-66	6,961	6,881	-80	6,895	6,927	32	6,827	6,798	-29
4歳	7,005	7,108	7,068	7,043	-25	7,048	6,979	-69	6,929	6,830	-99	6,970	6,922	-48	6,903	6,992	89
5歳	7,069	6,979	7,127	7,078	-49	7,083	6,995	-88	7,064	6,951	-113	6,943	6,828	-115	6,986	6,958	-28
6歳	6,899	7,059	6,971	6,952	-19	7,116	7,051	-65	7,077	6,968	-109	7,065	6,942	-123	6,941	6,822	-119
7歳	6,615	6,947	7,106	7,103	-3	7,015	6,942	-73	7,171	7,023	-148	7,127	6,955	-172	7,111	6,954	-157
8歳	6,898	6,661	6,972	6,929	-43	7,131	7,090	-41	7,039	6,930	-109	7,193	7,016	-177	7,152	6,930	-222
9歳	6,955	6,926	6,700	6,665	-35	7,013	6,954	-59	7,171	7,059	-112	7,083	6,921	-162	7,239	7,011	-228
10歳	7,123	6,989	6,963	6,935	-28	6,737	6,673	-64	7,047	6,940	-107	7,204	7,072	-132	7,122	6,928	-194
11歳	7,150	7,161	7,038	7,025	-13	7,008	6,971	-37	6,781	6,651	-130	7,097	6,960	-137	7,261	7,074	-187
合計	83,890	83,760	83,719	83,474	-245	83,720	83,181	-539	83,694	82,579	-1,115	83,837	82,668	-1,169	83,606	82,521	-1,085

中央区

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	1,529	1,517	1,504	1,521	17	1,491	1,469	-22	1,478	1,495	17	1,465	1,483	18	1,454	1,472	18
1歳	1,436	1,521	1,520	1,486	-34	1,509	1,482	-27	1,494	1,461	-33	1,482	1,471	-11	1,468	1,458	-10
2歳	1,492	1,397	1,501	1,495	-6	1,499	1,492	-7	1,484	1,457	-27	1,473	1,442	-31	1,460	1,449	-11
3歳	1,600	1,481	1,407	1,355	-52	1,510	1,464	-46	1,508	1,481	-27	1,494	1,424	-70	1,481	1,427	-54
4歳	1,428	1,593	1,481	1,458	-23	1,407	1,377	-30	1,512	1,478	-34	1,508	1,477	-31	1,493	1,394	-99
5歳	1,477	1,398	1,609	1,581	-28	1,493	1,441	-52	1,420	1,363	-57	1,526	1,462	-64	1,518	1,476	-42
6歳	1,418	1,447	1,384	1,402	18	1,590	1,599	9	1,477	1,465	-12	1,406	1,351	-55	1,511	1,447	-64
7歳	1,379	1,449	1,474	1,456	-18	1,408	1,398	-10	1,620	1,587	-33	1,503	1,452	-51	1,433	1,341	-92
8歳	1,429	1,385	1,458	1,458	0	1,484	1,484	0	1,419	1,411	-8	1,629	1,590	-39	1,512	1,440	-72
9歳	1,444	1,430	1,395	1,412	17	1,468	1,461	-7	1,497	1,478	-19	1,429	1,406	-23	1,642	1,594	-48
10歳	1,514	1,468	1,448	1,457	9	1,413	1,430	17	1,486	1,464	-22	1,514	1,483	-31	1,448	1,402	-46
11歳	1,519	1,537	1,489	1,497	8	1,467	1,440	-27	1,433	1,429	-4	1,506	1,478	-28	1,537	1,488	-49
合計	17,665	17,623	17,670	17,578	-92	17,739	17,537	-202	17,828	17,569	-259	17,935	17,519	-416	17,957	17,388	-569

東区

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	1,985	1,904	1,889	1,885	-4	1,871	1,898	27	1,855	1,787	-68	1,839	1,762	-77	1,822	1,739	-83
1歳	2,044	1,971	1,921	1,959	38	1,905	1,937	32	1,887	1,876	-11	1,870	1,816	-54	1,855	1,792	-63
2歳	2,013	2,063	1,983	1,929	-54	1,934	1,928	-6	1,916	1,893	-23	1,898	1,856	-42	1,882	1,815	-67
3歳	1,946	1,977	2,043	2,063	20	1,962	1,924	-38	1,915	1,894	-21	1,898	1,947	49	1,880	1,874	-6
4歳	1,994	1,966	1,990	1,981	-9	2,056	2,026	-30	1,976	1,888	-88	1,928	1,911	-17	1,910	1,987	77
5歳	2,013	1,972	1,961	1,963	2	1,987	1,977	-10	2,052	2,018	-34	1,972	1,873	-99	1,927	1,914	-13
6歳	1,958	2,043	1,985	1,943	-42	1,977	1,938	-39	2,002	1,926	-76	2,071	2,014	-57	1,989	1,850	-139
7歳	1,901	1,952	2,046	2,056	10	1,989	1,953	-36	1,982	1,906	-76	2,008	1,920	-88	2,073	2,025	-48
8歳	1,952	1,903	1,947	1,940	-7	2,040	2,047	7	1,983	1,934	-49	1,975	1,905	-70	2,003	1,901	-102
9歳	1,994	1,974	1,913	1,883	-30	1,959	1,942	-17	2,052	2,012	-40	1,996	1,921	-75	1,988	1,904	-84
10歳	1,996	2,000	1,978	1,961	-17	1,919	1,879	-40	1,962	1,925	-37	2,058	2,025	-33	2,000	1,921	-79
11歳	2,011	2,010	2,014	2,021	7	1,994	1,988	-6	1,934	1,859	-75	1,980	1,920	-60	2,075	2,026	-49
合計	23,807	23,735	23,670	23,584	-86	23,593	23,437	-156	23,516	22,918	-598	23,493	22,870	-623	23,404	22,748	-656

西 区

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	722	736	731	748	17	724	750	26	718	762	44	712	778	66	704	795	91
1歳	759	739	750	747	-3	745	769	24	738	754	16	732	779	47	725	796	71
2歳	772	773	731	745	14	742	733	-9	736	758	22	730	759	29	723	797	74
3歳	770	770	775	757	-18	731	747	16	743	737	-6	738	783	45	730	765	35
4歳	780	751	764	765	1	773	762	-11	726	725	-1	737	738	1	732	810	78
5歳	803	779	744	758	14	757	753	-4	766	763	-3	719	735	16	732	740	8
6歳	761	786	763	780	17	729	740	11	741	741	0	752	768	16	703	745	42
7歳	781	778	794	784	-10	768	772	4	736	745	9	748	736	-12	759	774	15
8歳	800	791	785	774	-11	802	777	-25	775	774	-1	743	738	-5	756	731	-25
9歳	816	804	790	784	-6	785	778	-7	800	777	-23	775	773	-2	743	731	-12
10歳	835	816	807	805	-2	793	776	-17	786	787	1	801	769	-32	777	772	-5
11歳	833	841	820	804	-16	809	814	5	794	784	-10	791	793	2	806	761	-45
合計	9,432	9,364	9,254	9,251	-3	9,158	9,171	13	9,059	9,107	48	8,978	9,149	171	8,890	9,217	327

南 区

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	1,311	1,344	1,329	1,330	1	1,307	1,388	81	1,283	1,342	59	1,263	1,369	106	1,242	1,398	156
1歳	1,360	1,345	1,389	1,449	60	1,373	1,390	17	1,350	1,433	83	1,325	1,411	86	1,304	1,438	134
2歳	1,414	1,383	1,374	1,367	-7	1,419	1,447	28	1,402	1,391	-11	1,380	1,450	70	1,354	1,484	130
3歳	1,364	1,454	1,406	1,426	20	1,398	1,406	8	1,444	1,438	-6	1,426	1,455	29	1,404	1,468	64
4歳	1,346	1,386	1,472	1,481	9	1,421	1,456	35	1,414	1,417	3	1,460	1,494	34	1,443	1,522	79
5歳	1,355	1,387	1,398	1,399	1	1,484	1,489	5	1,435	1,468	33	1,425	1,456	31	1,471	1,553	82
6歳	1,365	1,384	1,407	1,425	18	1,415	1,429	14	1,505	1,489	-16	1,455	1,504	49	1,446	1,497	51
7歳	1,225	1,380	1,386	1,409	23	1,410	1,435	25	1,421	1,439	18	1,509	1,516	7	1,458	1,541	83
8歳	1,267	1,241	1,393	1,376	-17	1,399	1,402	3	1,423	1,435	12	1,434	1,462	28	1,522	1,543	21
9歳	1,328	1,265	1,246	1,257	11	1,399	1,388	-11	1,402	1,404	2	1,429	1,467	38	1,440	1,486	46
10歳	1,296	1,331	1,269	1,269	0	1,250	1,253	3	1,403	1,383	-20	1,405	1,420	15	1,433	1,500	67
11歳	1,335	1,295	1,331	1,341	10	1,267	1,281	14	1,248	1,245	-3	1,401	1,392	-9	1,405	1,437	32
合計	15,966	16,195	16,400	16,529	129	16,542	16,764	222	16,730	16,884	154	16,912	17,396	484	16,922	17,867	945

北 区

単位：人

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	実績	実績	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	実績	差	当初計画推計	今回推計	差	当初計画推計	今回推計	差
0歳	1,373	1,397	1,384	1,402	18	1,377	1,304	-73	1,373	1,243	-130	1,364	1,231	-133	1,356	1,219	-137
1歳	1,474	1,360	1,402	1,373	-29	1,391	1,361	-30	1,383	1,336	-47	1,377	1,219	-158	1,369	1,206	-163
2歳	1,386	1,423	1,330	1,334	4	1,369	1,331	-38	1,357	1,358	1	1,350	1,299	-51	1,346	1,196	-150
3歳	1,426	1,375	1,405	1,373	-32	1,312	1,306	-6	1,351	1,331	-20	1,339	1,318	-21	1,332	1,264	-68
4歳	1,457	1,412	1,361	1,358	-3	1,391	1,358	-33	1,301	1,322	21	1,337	1,302	-35	1,325	1,279	-46
5歳	1,421	1,443	1,415	1,377	-38	1,362	1,335	-27	1,391	1,339	-52	1,301	1,302	1	1,338	1,275	-63
6歳	1,397	1,399	1,432	1,402	-30	1,405	1,345	-60	1,352	1,347	-5	1,381	1,305	-76	1,292	1,283	-9
7歳	1,329	1,388	1,406	1,398	-8	1,440	1,384	-56	1,412	1,346	-66	1,359	1,331	-28	1,388	1,273	-115
8歳	1,450	1,341	1,389	1,381	-8	1,406	1,380	-26	1,439	1,376	-63	1,412	1,321	-91	1,359	1,315	-44
9歳	1,373	1,453	1,356	1,329	-27	1,402	1,385	-17	1,420	1,388	-32	1,454	1,354	-100	1,426	1,296	-130
10歳	1,482	1,374	1,461	1,443	-18	1,362	1,335	-27	1,410	1,381	-29	1,426	1,375	-51	1,464	1,333	-131
11歳	1,452	1,478	1,384	1,362	-22	1,471	1,448	-23	1,372	1,334	-38	1,419	1,377	-42	1,438	1,362	-76
合計	17,020	16,843	16,725	16,532	-193	16,688	16,272	-416	16,561	16,101	-460	16,519	15,734	-785	16,433	15,301	-1,132

3 量の見込みと確保の方策

1. 教育・保育

○見直し後の計画

教育(1号)、保育(2・3号) 総計														
		H25年度				H26年度				H27年度				
		認定区分	1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号	
					0歳	1～2歳			0歳	1～2歳			0歳	1～2歳
①	純ニーズ量	8,936	19,454			8,781	19,888			8,638	21,490			
			10,245	2,851	6,358		10,403	3,001	6,484		11,104	3,284	7,102	
②	本市が定める数									4,486	10,745			
											5,552	1,642	3,551	
量の見込み(①+②)		8,936	19,454			8,657	19,888			13,124	32,235			
			10,245	2,851	6,358		10,403	3,001	6,484		16,656	4,926	10,653	
③	現況推計による確保の状況	11,123	18,021			11,123	18,687			10,992	20,052			
			9,930	2,279	5,812		10,299	2,363	6,025		10,902	2,884	6,266	
	幼稚園	10,921				10,921				8,556				
	認定こども園(幼稚園部分)	202				202				2,436				
	認定こども園(保育所部分)		0	5	28		0	5	28		3,256	785	1,962	
	保育所		9,930	2,274	5,784		10,299	2,358	5,997		7,646	2,099	4,304	
③ - ①		2,187	▲ 1,433			2,342	▲ 1,201			2,354	▲ 1,438			
			▲ 315	▲ 572	▲ 546		▲ 104	▲ 638	▲ 459		▲ 202	▲ 400	▲ 836	
④	今後想定確保策案													
	施設整備等													
	地域型保育事業													
確保の方策		・1号については、供給が需要を上回り、今後についても充足が見込まれるため、特段の対応を要しない ・認定区分間の過不足数対応としての2・3号定員割り振り等を各事業者に継続的に働きかけていく												

(1) 教育・保育の認定区分について

- 1号……3～5歳 幼児教育のみ
- 2号……3～5歳 保育の必要性あり
- 3号……0～2歳 保育の必要性あり

<保育の必要性>

- ①就労 ②妊娠、出産 ③保護者の疾病、障害
- ④親族等の介護、看護 ⑤求職活動 ⑥就学 など

(2) 提供区域の設定について

- 教育(1号) 8圏域……現行の利用実態を踏まえ、保育(2・3号)提供区域より広範囲な区域を設定
- 保育(2・3号) 27圏域……熊本市介護保険計画における「日常生活圏域」を参考として設定

(3) 量の見込みについて

教育(1号) 施設への移行調査結果及び入所率を基に、量の見込み(利用ニーズ量)を推計

保育(2・3号) 3号(0歳)…… H28申請率(50.4%)に過去3年平均伸び率(3.1%)でH29まで試算、以降固定して推計
 3号(1～2歳)…… H28申請率(1～2歳53.5%、3～5歳54.6%)に、過去3カ年の平均伸び率(1～2歳+2.9%、及び2号 3～5歳+2.1%)でH29まで試算、以降固定(1～2歳56.4%、3～5歳56.7%)して推計

(4) 確保方策目標年度について

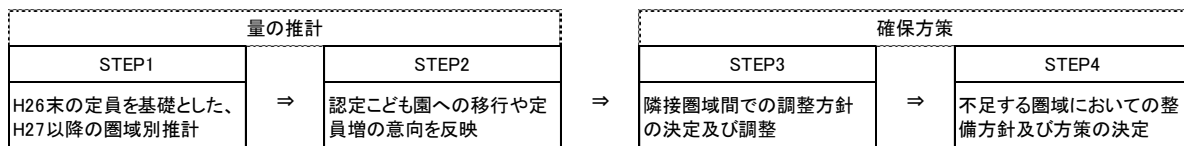
平成31年度末(国の子育て安心プランの対策完了目標を参考に設定)

(人)

H28年度				H29年度				H30年度				H31年度			
1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号		1号	2号	3号	
		0歳	1~2歳			0歳	1~2歳			0歳	1~2歳			0歳	1~2歳
8,323	22,219			8,012	22,984			8,180	22,867			8,225	22,868		
	11,367	3,432	7,420		11,709	3,545	7,730		11,717	3,541	7,609		11,758	3,541	7,569
4,460	11,110			4,229	11,492			4,208	11,434			4,228	11,434		
	5,684	1,716	3,710		5,855	1,773	3,865		5,859	1,771	3,805		5,879	1,771	3,785
12,783	33,329			12,241	34,476			12,388	34,301			12,453	34,302		
	17,051	5,148	11,130		17,564	5,318	11,595		17,576	5,312	11,414		17,637	5,312	11,354
11,025	21,015			10,515	22,614			10,590	22,951			10,635	22,966		
	11,210	3,090	6,715		11,827	2,406	8,381		12,049	2,451	8,451		12,052	2,460	8,454
7,116				5,976				4,791				4,791			
3,909				4,539				5,799				5,844			
	3,291	793	1,981		3,611	615	2,206		5,276	923	3,125		5,668	1,000	3,331
	7,919	2,297	4,734		8,216	1,791	6,175		6,773	1,528	5,326		6,384	1,460	5,123
2,702	▲ 1,204			2,503	▲ 370			2,410	84			2,410	98		
	▲ 157	▲ 342	▲ 705		118	▲ 1,139	651		332	▲ 1,090	842		294	▲ 1,081	885

これらの対応により、H31年度までに3号についての供給不足解消を目指す

(5) 確保方策算定手順等について



(STEP3)

圏域の供給過多が、標準的な保育施設規模(同)の約半分(50名)以上の場合については、その超える部分について、隣接の供給過少圏域(50名を超える供給過少)分を比率按分し、50名を限度に受け入れるものとして調整

(STEP4)

目標年度のH31年度における供給量の不足数に応じて、以下のとおり対応を図る

- ・供給量が不足となる圏域については、その不足する範囲での施設整備等によって対応を図る。

2. 一時預かり事業

(1) 在園児対象型（教育時間前後等の幼稚園在園児一時預かり事業）

【事業概要】

幼稚園、認定こども園の在園児を通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の要請等に応じて預かる事業

○見直し前の計画及び実績

各提供区域の合計 単位 人日：延べ利用人数／年

所管課	保育幼稚園課						
提供区域	27圏域						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人日)	-	-	600,962	595,890	593,176	588,671	586,135
確保方策	-	-	・教育時間前後、長期休業期間(夏休み等)の幼稚園在園児の一時預かりであるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。				
③実績(人日)	-	-	31,434	47,500	48,000	※H29は見込み数	
③-①	-	-	-569,528	-548,390			
予算	-	-	20,000千円	43,200千円			
決算	-	-	13,614千円	25,809千円			

○平成28年度までの取組状況

- ・平成27年度は、幼保連携型認定子ども園24園で実施（補助対象園13園、自主事業11園）
- ・平成28年度は、幼保連携型認定子ども園46園で実施（補助対象園21園、自主事業25園）

○分析・課題

・当初の計画では推計人口とアンケート調査を基に、量の見込みを推計していたが、2号認定者のニーズも含めており、過大に見込んでいたため、実績値と乖離が生じた。確保の方策については、自主事業園の利用者も含め、実際の利用ニーズには十分対応している。

○今後の方向性

・一時預かり事業（幼稚園型）の利用ニーズに的確に対応できるよう各事業者に対し、必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。

○ 見直しの判断とその理由

・実績と乖離があるため、量の見込みを見直す。具体的には、当初計画では、2号認定者のニーズも含めていたが、2号認定者の一時預かりの利用ニーズは低いため、2号認定者の利用見込みを大幅に修正し、実績を踏まえた数値とする。また、確保の内容を追加するとともに、確保の方策についても、文言の修正を行う。

○見直し後の計画

年 度	各提供区域の合計						単位 人日：延べ利用人数／年	
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③実績(人日)	-	-	31,434	47,500	48,000	※H29は見込み数		
①'見直し後の量の見込み(人日)	-	-	-	-	-	48,000	48,000	
②'見直し後の確保の内容	-	-	-	-	-	48,000	48,000	
②'-①'	-	-	-	-	-	0	0	
確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園在園児を教育時間前後や長期休業期間に一時預かる制度であるため、施設の整備等を必要とせず、既存施設で事業の実施が可能である。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。 							

(2) 在園児対象型以外（保護者が病気等で一時的に家庭での保育が困難な場合の一時預かり事業）

【事業概要】

保育所等を利用していない家庭において、保護者が病気や冠婚葬祭などで家庭での保育が困難な場合に、保育所等で一時的に在園児以外を預かる事業

○見直し前の計画及び実績

各提供区域の合計 単位 人日：延べ利用人数／年

所管課	保育幼稚園課						
提供区域	27圏域						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人日)	-	-	65,295	65,099	64,242	63,421	62,677
確保方策	-	-	・保育時間中の定数の余裕分を用いて在園児以外を預かる「自主事業」と、専用室を用意して在園児以外を預かる「補助事業」がある。 ・今後、量の見込みに基づく保育施設(定員)の充足が図られることから、「自主事業」により対応できる余地が拡大されることが見込まれるが、それでもなお、不足が見込まれる場合においては、補助事業の拡充等、機動的な対応に努める。				
③実績(人日)	36,832	35,842	30,346	28,981	26,805	※H29は見込み数	
③-①	-	-	-34,949	-36,118			
予算	-	-	27,428千円	30,212千円			
決算	-	-	27,358千円	27,553千円			

○平成28年度までの取組状況

- 平成27年度 公立・・・補助事業1ヶ所、自主事業19ヶ所
私立・・・補助事業14ヶ所、自主事業87ヶ所
- 平成28年度 公立・・・補助事業1ヶ所、自主事業18ヶ所
私立・・・補助事業14ヶ所、自主事業91ヶ所

○分析・課題

- 当初の計画では推計人口とアンケート調査を基に、量の見込みを推計していたが、その後、在園児（保育の利用者）が増えたことにより、利用のニーズが減少したと推測される。自主事業の利用者も含め、ニーズに対しては十分対応できた。

○今後の方向性

- 一時預かりの利用ニーズに的確に対応できるよう、補助事業に加え、自主事業の拡充を図る。

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込みと実績に乖離があるため、利用実績を踏まえて量の見込みを見直し、確保の内容についても追加をする。具体的には、過去4年の実績伸び率平均から量の見込みを推計する。

○見直し後の計画

各提供区域の合計 単位 人日：延べ利用人数／年							
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
③実績(人日)	36,832	35,842	30,346	28,981	26,805	※H29は見込み数	
①'見直し後の量の見込み(人日)	-	-	-	-	-	24,793	22,932
②'見直し後の確保の内容	-	-	-	-	-	24,793	22,932
②'-①'	-	-	-	-	-	0	0
確保方策	・保育時間中の定数の余裕分を用いて在園児以外を預かる「自主事業」と、専用室を用意して在園児以外を預かる「補助事業」がある。 ・今後、量の見込みに基づく保育施設(定員)の充足が図られることから、「自主事業」により対応できる余地が拡大されることが見込まれるが、それでもなお、不足が見込まれる場合においては、補助事業の拡充等、機動的な対応に努める。						

過去4年の実績伸び率平均

年度	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30推計	H31推計
実績(人日)	36,832	35,842	30,346	28,981	26,805	24,793	22,932
伸び率		0.97	0.85	0.96	0.92	0.92	0.92

※伸び率平均 0.92

3. 時間外保育事業

【事業概要】

保護者の就労等、やむを得ない事情で保育時間の延長が必要な児童を、通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において保育する事業

○見直し前の計画及び実績

		各提供区域の合計						単位	人/年
所管課	保育幼稚園課								
提供区域	27圏域								
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み(人)	-	-	12,844	12,765	12,674	12,567	12,479		
確保方策	-	-	・保育時間前後の在園児の一時預かりであるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。						
③実績(人)	9,599	9,973	9,398	9,684	9,722	※H29は見込み数			
③-①	-	-	-3,446	-3,081					
予算			182,606千円	196,799千円					
決算			182,421千円	171,713千円					

○平成28年度までの取組状況

- ・平成27年度は公立20ヶ所、私立148ヶ所を実施
- ・平成28年度は公立19ヶ所、私立170ヶ所を実施

○分析・課題

- ・当初の計画では推計人口とアンケート調査を基に、量の見込みを推計していたが、潜在ニーズを過大に見込んでいたため、実績値と乖離が生じた。ニーズに対しては十分対応できた。

○今後の方向性

- ・利用ニーズに的確に対応できるよう各事業者に関所時間や人的配置について、継続的に働きかける。

○ 見直しの判断とその理由

- ・ 量の見込みと実績に乖離があるため、利用実績を踏まえて量の見込みを見直し、確保の内容についても追加する。具体的には、過去 4 年の実績伸び率平均から量の見込みを推計する。また、確保の方策について、文言の修正を行う。

○見直し後の計画

年 度	各提供区域の合計						単位	人/年
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③実績(人)	9,599	9,973	9,398	9,684	9,722	※H29は見込み数		
①見直し後の量の見込み(人)	-	-	-	-	-	9,760	9,798	
②見直し後の確保の内容	-	-	-	-	-	9,760	9,798	
②'-①'	-	-	-	-	-	0	0	
確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在園児を保育時間前後に一時預かる制度であるため、施設の整備等を必要とせず、既存施設で事業の実施が可能である。 ・ 利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。 							

過去3年間の実績伸び率平均

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
実績(人)	9,599	9,973	9,398	9,684	9,722	9,760	9,798
伸び率		1.0390	0.9423	1.0304	1.0039	1.0039	1.0039

※伸び率平均 1.0039

4. 利用者支援事業

【事業概要】

子どもとその保護者が、認定こども園や幼稚園、保育所、一時預かりをはじめとした様々な子育て支援の事業や制度の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう支援を行う。

○見直し前の計画及び実績

		各提供区域の合計						単位	ヶ所
所管課	保育幼稚園課								
提供区域	行政区								
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み(ヶ所)	-	-	5	5	5	5	5	5	
②確保の内容	-	-	5	5	5	5	5	5	
②-①	-	-	0	0	0	0	0	0	
確保方策	-	-	・H26年度において、待機児童対策として、保育子育て相談員を中央区、東区に配置 ・H27年度以降、全区において利用者支援事業を実施						
③実績(ヶ所)	0	0	5	5	5				
③-②	-	-	0	0					
予算	-	-	4,900千円	10,159千円					
決算	-	-	4,504千円	9,586千円					

○平成28年度までの取組状況

- ・利用者支援員を各区1名配置し、平成27度に引き続き保育施設の入所斡旋等業務を行った。
- ・一時預かりやその他子育て支援関係施設の紹介など入所斡旋以外の相談対応も行った。
- ・平成27年度相談件数：4,992件（平成27年度は11月から設置）
平成28年度相談件数：9,673件

○分析・課題

- ・各区において、上記の体制で対応している。利用者支援員とともに、必要に応じて職員も対応するなど適切な支援を行っており、円滑な利用につながっている。

○今後の方向性

- ・利用者支援員会議や研修などを充実させ、より多様化するニーズに対応していく体制を整える。

○見直しの判断とその理由

- ・計画に沿った配置を行い、利用者への情報提供や相談対応等適切な対応を行っているため、現行の計画どおりとする。

5. 放課後児童健全育成事業（児童育成クラブ）

【事業概要】

共働き家庭など、留守家庭の小学生を対象に、放課後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全育成を図る事業

○見直し前の計画及び実績

所管課	青少年教育課
提供区域	市全域

〔低学年〕 単位 人／年

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人)	-	-	5,206	5,258	5,265	5,289	5,244
②確保の内容	-	-	5,206	5,258	5,265	5,289	5,244
②-①	-	-	0	0	0	0	0
確保方策	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、定員制を設けていないため、入会要件を満たす者全てを受け入れている。 ・面積要件(1.65㎡/人)について、満たしていないクラブが28クラブあるため、施設整備、学校施設の活用及び民間事業者の参入等により、改善を目指す。 なお、具体的な改善方策はH27年度に設置する「運営委員会」で検討し、関係機関との協議を踏まえ、毎年度の改善施設数を決定していく。 				
③実績(人)	4,859	5,243	5,619	6,022	6,213	※H29は見込み数	
③-②	-	-	413	764			

〔高学年〕

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	-	-	3,647	3,657	3,699	3,767	3,809
確保方策	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・面積要件を満たすクラブ等にて受入れを検討する。(現在行っている障がい児等の利用を含め、ひとり親家庭や低所得者世帯などへの優先利用もあわせて検討) ・面積要件の改善を図るため、引き続き学校施設の活用を検討する。 ・民間事業者の参入を促す。(高学年の受入拡大を目指す。) 				
③実績	84	80	71	72	76	※H29は見込み数	
③-①	-	-	-3,576	-3,585			

〔予算・決算〕

予算	-	-	690,123千円	668,665千円			
決算	-	-	673,758千円	646,176千円			

○平成28年度までの取組状況

・定員制を設けていないため、低学年と高学年を合わせて平成26年度は5,323人、平成27年度は5,690人、平成28年度は6,094人の入会要件を満たす者すべての受入れを実施している。

- ・施設環境の改善等のため、育成クラブの整備を行った。
平成27年度 6ヶ所（新規整備3ヶ所、学校施設の活用3ヶ所）
平成28年度 4ヶ所（新規整備2ヶ所、学校施設の活用2ヶ所）
- ・民営6クラブに加え、公営クラブで面積に余裕のある所から、平成27年度3ヶ所、平成28年度1ヶ所の高学年の受入れを開始した。（障がい児についてはすべてのクラブで受入れ）
- ・有識者による熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会を開催し、総合的な放課後対策の在り方について議論を行った。

○ 分析・課題

- ・入会児童の増加のため、施設整備や学校施設の活用等により施設環境の改善を進めているが、事業費の制約がある中、十分な解消には繋がっていない。
- ・育成クラブの適正な運営には、育成クラブ実施体制の充実に加え、学校の育成クラブに対する協力が必要である。

○ 今後の方向性

- ・引き続き、学校との連携を強化する。
- ・放課後子ども総合プランで示されている学校の余裕教室の徹底活用や放課後等における学校施設の一時的な利用の促進について、施設整備と合わせ積極的に取り組んで行く。
- ・低学年の施設環境改善を優先的に取り組む。

<低学年>

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込と実績に10%以上のかい離があるため、実績に基づき、H30、31の見込みを算出。
- ・量の見込みに対する確保方策は、入会要件を満たす者全てを受け入れることで達成しており、今後も、施設環境を改善していく。

○見直し後の計画

単位 人/年							
年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
③実績(人日)	4,859	5,243	5,619	6,022	6,213	※H29は見込み数	
①見直し後の量の見込み(人)	-	-	-	-	-	6,213	6,213
②見直し後の確保の内容	-	-	-	-	-	6,213	6,213
②-①	-	-	-	-	-	0	0
確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、定員制を設けていないため、入会要件を満たす者全てを受け入れている。 ・狭隘な施設が散見されるため、施設整備、学校施設の活用により改善を行う。 						

<高学年>

○ 見直しの判断とその理由

- ・当初、量の見込みは、ニーズ調査の結果（17.6%希望）に基づき量の見込を算出したが、現在行っている障がいや特性のある児童の受入れ及び障がい児以外の高学年受入を行っている11クラブの実績（6.0%）と差が大きいため、H30、31の見込みを修正する。
- ・確保の方策は、現在行っている障がいや特性のある児童については受入れを継続するとともに、可能なクラブでの導入を図っていく。また、現在実施している「熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会」の中で、高学年受入れを含め総合的な放課後の在り方について検討を行っている。

○見直し後の計画

単位 人/年							
年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
③実績(人日)	84	80	71	72	76	※H29は見込み数	
①見直し後の量の見込み(人)	-	-	-	-	-	84	88
確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいや特性のある児童の受入れは実施済み。 ・一部のクラブでは障がいのある児童等以外の受け入れも実施しており、今後も可能なクラブで導入を図って行く。 ・有識者による熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会を開催し、総合的な放課後対策の在り方について検討を行う。 						

6. 子育て短期支援事業

○事業概要

保護者の疾病その他の理由によって、家庭において児童を養育することが一時的に難しくなった場合や、経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に児童養護施設等で預かる制度。

○見直し前の計画及び実績

単位 人日：延べ利用人数／年

所管課	子ども支援課							
提供区域	市全域							
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み(人日)	-	-	2,487	2,471	2,454	2,433	2,416	
②確保の内容	-	-	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	
②-①	-	-	213	229	246	267	284	
確保方策	-	-	受け入れ可能人員 児童養護施設7ヶ所 1名/日 7名 300日 2,100 乳児院2ヶ所 1名/日 2名 300日 600 2,700 ※この他、緊急一時的な母子保護のため母子生活支援施設2ヶ所でも受入					
③実績(人日)	929	864	1,159	601	649	※H29は見込み数		
③-②	-	-	-1,541	-2,099				
予算	-	-	7,600千円	4,500千円				
決算	-	-	7,614千円	3,373千円				

○平成28年度までの取組状況

- ・平成27年度は11ヶ所[※]の施設で120人(延べ1159人)を受け入れた。
- ・平成28年度は11ヶ所[※]の施設で83人(延べ601人)を受け入れた。
 ※11ヶ所には、緊急一時的に受入れた母子生活支援施設2ヶ所を含む

○分析・課題

- ・確保の内容が2,700人に対し実績601人であり、既存施設で受入可能。
- ・平成28年度は、熊本地震の影響により利用者が減少した。

○今後の方向性

- ・量の見込みに対しては、既存施設で受入可能。引き続き、支援が必要な家庭に対し児童養護施設等において養育・保護を行う。

○ 見直しの判断とその理由

- ・ 量の見込みと実績に乖離があるため、利用実績を踏まえて量の見込みを見直す。
- ・ また、確保の内容については、平成29年度より児童養護施設を7ヶ所から6ヶ所へ変更したことから、見直しを行う。

○見直し後の計画

単位 人日:延べ利用人数/年

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
③実績(人日)	929	864	1,159	601	649	※H29は見込み数	
①見直し後の量の見込み(人日)	-	-	-	-	-	1,095	1,078
②見直し後の確保の内容	-	-	-	-	-	2,400	2,400
②'-①'	-	-	-	-	-	1,305	1,322
確保方策	児童養護施設6ヶ所 1名/日 6名 300日 1,800 乳児院2ヶ所 1名/日 2名 300日 600 計2,400 ※この他、緊急一時的な母子保護のため母子生活支援施設2ヶ所でも受入						

7. 乳児家庭全戸訪問事業

○事業概要

生後4ヶ月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育について、保健師、助産師又は民生委員等が相談対応・助言を行う。

○見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	子ども支援課							
提供区域	行政区							
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み(人)	-	-	6,419	6,426	6,444	6,400	6,345	
②確保の内容	-	-	6,419	6,426	6,444	6,400	6,345	
②-①	-	-	0	0	0	0	0	
確保方策	-	-	量の見込みは今後減少していくので、現体制で確保できる。					
③実績(人)	6,409	6,434	6,463	6,208	6,208	※H29は見込み数		
③-②	-	-	44	-218				
予算			20,622千円	20,738千円				
決算			19,485千円	19,197千円				

○平成28年度までの取組状況

- ・保健師、助産師又は民生委員等が対象家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や、養育についての相談対応・助言を行った。
- ・平成27年度・・・訪問数 6,463 人 / 対象者数 7,062 人
- ・平成28年度・・・訪問数 6,208 人 / 対象者数 6,775 人

○分析・課題

- ・確保の内容 6,426 人に対し、実績 6,208 人と対応できている。

○今後の方向性

引き続き、乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育についての相談対応・助言を行う。

○見直しの判断とその理由

- ・適切に対応しており、これまでの計画で定める量の見込みと確保の内容に対する実績値が同程度であるため、現行の計画どおりとする。

8. 養育支援訪問事業、要保護児童等支援事業

○事業概要

(1) 養育支援訪問事業

育児不安のある者や精神的に不安定な状態等で、支援が特に必要な状況にある者並びに食事、衣服、生活環境等について不適切な養育状態にある家庭等に対し、保健師、助産師又はホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導及び助言等を行う。

(2) 要保護児童等支援事業

要保護児童等支援事業（子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業）として、関係者の相談対応能力の向上を図るため、研修会への参加やスーパーバイザーによる助言・指導を行う。

※要保護児童等支援事業については、量の見込みの設定対象外事業であるため、計画の設定は行わない。

○見直し前の計画及び実績

		単位 人/年					
所管課	子ども支援課						
提供区域	行政区						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人)	-	-	103	116	128	136	144
②確保の内容	-	-	103	116	128	136	144
②-①	-	-	0	0	0	0	0
確保方策	実施機関(委託団体を含む)のサービス供給体制に余裕があるため確保できる。						
③実績(人)	54	35	54	51	51	※H29は見込み数	
③-②	-	-	-49	-65			
予算			4,790千円	6,392千円			
決算			5,206千円	6,021千円			

○平成28年度までの取組状況

(1) 養育支援訪問事業

・保健師、助産師又はホームヘルパー等が対象者の家庭を訪問し、養育に関する指導及び助言等を行った。

(実績) 平成27年度 54世帯、平成28年度 51世帯

(2) 要保護児童等支援事業

・相談対応能力向上のための職員派遣研修

(実績) 平成27年度 3名、平成28年度は熊本地震のため不参加

・スーパーバイザーによる職場研修

(実績) 平成27年度 3回開催(延べ39名)、平成28年度 1回開催(延べ10名)

○分析・課題

・確保の内容に対し実績が下回っており、現体制で対応可能。対象者は横ばいであるが、1人あたりの訪問回数は増えている。

○今後の方向性

・本事業は支援が必要な家庭に対し職権で実施する事業であるため対象家庭を全て訪問する。

○見直しの判断とその理由

・確保の内容と実績に乖離があるが、職権で実施する事業であり、訪問が必要な家庭の増減にかかわらず、現状の必要量を確保するため、現行の計画どおりとする。

9. 地域子育て支援拠点事業

○事業概要

地域の保育園に併設し、子育てに関する相談や子育て中の親子の交流の場として利用でき、保育士などが子育ての不安や悩みなどについて相談に応じるほか、子育て支援サービスの情報提供を行う。

○見直し前の計画及び実績

単位 延べ利用人数／月 （実施力所数／年）

所管課	子ども支援課							
提供区域	市全域							
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み(人・月)	-	-	25,326	25,191	25,059	24,940	24,836	
②確保の内容	-	-	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500	
②-①	-	-	9,174	9,309	9,441	9,560	9,664	
確保方策	-	-	既存施設で対応					
③実績(人・月)(カ所数)	11,403(22)	12,360(23)	12,559(23)	12,716(23)	13,263(23)	※H29は見込み数		
③-②	-	-	-22,073	-21,237				
予算	-	-	81,367千円	82,812千円				
決算	-	-	79,446千円	77,466千円				

○平成28年度までの取組状況

- ・量の見込みについては、既存施設で対応可能なため引き続き利用増に向けた広報周知に努める。
- 【子育て支援センター】※公立には、街なか子育てひろば（1ヶ所）、つどいの広場（2ヶ所）を含む
 - 平成27年度・・・公立13センター、私立10センター
 - 平成28年度・・・公立13センター、私立10センター

○分析・課題

- ・ニーズに対しては、子育て支援センターのほかに、児童館や子ども文化会館といった「子育てほっとステーション」でも対応しており、最寄りの施設の利用が可能となっている。

○今後の方向性

- ・市政だよりやHPを活用し利用促進を図る。

○見直しの判断とその理由

- ・実績に対する確保の内容は十分に余裕があるものの、利用実績も増加傾向にあることから、必要量の確保のため現行の計画どおりとする。



10. 病児・病後児保育事業

○事業概要

子どもが病気などのため保育所等に預けられない場合で、保護者の就労等により家庭での保育が難しい場合に、小学校低学年までの子どもを医療機関などに併設した施設で預かるサービス。

○見直し前の計画及び実績

単位：人日＝延べ利用者数／年（カ所数＝実施カ所数／年）

所管課	子ども支援課						
提供区域	行政区						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人日)	-	-	20,128	20,000	19,733	19,310	18,763
②確保の内容	-	-	21,608	21,608	23,680	25,752	25,752
②-①	-	-	1,480	1,608	3,947	6,442	6,989
確保方策	-	-	各区をまたがる利用を考慮しつつ、定員の増員や施設の設置などにより必要量の確保を行う。				
③実績(人日(カ所数))	5,546(8)	5,697(8)	6,104(8)	6,177(8)	6,404(8)	※H29は見込み数	
③-②	-	-	-15,504	-15,431			
予算	-	-	80,200千円	88,600千円			
決算	-	-	83,602千円	84,230千円			

○平成28年度までの取組状況

- ・平成28年3月末に病児・病後児保育施設の空き状況等がわかるサイトを開設。
- ・平成28年4月から近隣市町村と病児・病後児保育施設の相互利用を開始。
- ・平成27年度・・・8施設
- ・平成28年度・・・8施設

○分析・課題

- ・量の見込みが過大であるため、利用実態の推移をふまえ、量の見込みの中間年の見直しを行う。

○今後の方向性

- ・現在の利用状況とニーズ調査において大きな乖離が見られることから、今後、利用実績をベースに必要量を確保していく。

○ 見直しの判断とその理由

- ・提供区域に関して、利用実態を見ると保護者の通勤に伴う行政区を越えた利用があるため、市全域とする。
- ・量の見込みと実績に乖離があるため、利用実績を踏まえて量の見込みを見直す。具体的には、過去4年の実績伸び率平均から量の見込みを推計する。また、確保の方策も平常時に受入れ可能な人数で算出する。

○見直し後の計画

単位： 人日＝延べ利用者数／年 （カ所数＝実施カ所数／年）

提供区域	市全域						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
③実績(人日(カ所数))	5,546(8)	5,697(8)	6,104(8)	6,177(8)	6,404(8)	※H29は見込み数	
①見直し後の量の見込み(人日)						6,639	6,883
②見直し後の確保の内容						14,994	14,994
②'-①'						8,355	8,111
確保方策	施設の受入れ可能な人数(常時)により確保方策を算出						

11. 子育て援助活動支援事業

○事業概要

ファミリー・サポート・センター〈熊本〉を設置し、子どもを預けたい者（依頼会員）と子どもを預かりたい者（協力会員）からなる会員組織同士が行う相互援助活動を支援する。

○見直し前の計画及び実績

単位 件／年

所管課	子ども支援課							
提供区域	市全域							
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み(件)	-	-	5,710	5,750	5,788	5,856	5,881	
②確保の内容	-	-	5,655	5,771	5,887	6,003	6,119	
②-①	-	-	-55	21	99	147	238	
確保方策	-	-	協力会員 20人増 1人活動件数 20人×5.8件=116					
③実績(件)	5,467	5,558	6,089	4,704	5,422	※H29は見込み数		
③-②	-	-	379	-1,046				
予算	-	-	17,142千円	17,142千円				
決算	-	-	16,800千円	17,142千円				

○平成28年度までの取組状況

- ・facebook やラジオ等により事業の周知及び会員募集を行い、会員確保に努めた。
- ・平成27年度依頼会員数 2,237人、協力会員数 892人
- ・平成28年度依頼会員数 2,229人、協力会員数 876人

○分析・課題

- ・平成28年度は、熊本地震の発災により協力会員側の受入れができず、利用が困難となったため実績が計画値より低くなった。

○今後の方向性

- ・市政だより等の広報活動やボランティア団体との連携等により協力会員の確保を図る。

○見直しの判断とその理由

- ・適切に対応しており、これまでの計画で定める量の見込みと確保の内容に対する実績値が同程度であるため、現行の計画どおりとする。

12. 妊婦健康診査

○事業概要

母子保健法第13条^{*}に基づく妊婦に対する健康診査。

※ 市町村は、必要に応じ、妊産婦又は乳児若しくは幼児に対して、健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならない。

○見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	健康づくり推進課						
提供区域	市全域						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(件)	-	-	11,160	11,058	10,972	10,888	10,791
②確保の内容	-	-	11,160	11,058	10,972	10,888	10,791
②-①	-	-	0	0	0	0	0
確保方策	-	-	量の見込みは今後減少していくので、現体制で確保できる。				
③実績(件数)	11,476	11,524	11,310	10,831	10,972	※H29は見込み数	
③-②	-	-	150	-227			
予算			680,232千円	667,176千円			
決算			636,788千円	603,454千円			

○平成28年度までの取組状況

- ・妊娠週数に応じて1人あたり最大14回の健康診査を医療機関にて実施した。

○分析・課題

- ・全件対応できている。なお、平成28年度は、熊本地震の影響で県外で妊婦健診を受診するケースが増加したため、実績が減少した。

○今後の方向性

- ・引き続き、妊婦健康診査を実施し、妊婦の保健管理の向上を図る。

○見直しの判断とその理由

- ・適切に対応しており、これまでの計画で定める量の見込みと確保の内容が同程度であるため、現行の計画どおりとする。

1.3. 実費徴収に係る補足給付を行う事業

○事業概要

- ・保護者の世帯所得の状況等を勘案して、教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具等の購入に要する費用及び食事の提供に要する費用を助成する事業。
- ・所得が一定水準を下回る世帯を対象とし、教育・保育の利用に必要な実費を助成。

○見直し前の計画及び実績

所管課	保育幼稚園課						
提供区域	-						
年度	25	26	27	28	29	30	31
①量の見込み	-	-	-	-	-	-	-
②確保の内容	-	-	設定対象外		-	-	-
②-①	-	-	-	-	-	-	-
確保方策	-	-	平成27年度から生活保護世帯(第1階層)を対象として事業実施				
③実績(人)	0	0	141	157	333	※H29は見込み数	
③-②	-	-	-	-			
予算	-	-	8,400千円	4,439千円			
決算	-	-	1,339千円	1,774千円			

○平成28年度までの取組状況

- ・生活保護世帯（利用者負担額第1階層）を対象に教育・保育の利用に必要な実費を助成。
- ・平成27年度補助施設：60園　平成27年度補助対象者：141人
- ・平成28年度補助施設：68園　平成28年補助対象者：157人

○分析・課題

- ・全対象施設及び全対象世帯に対し通知を行ったものの、申請は保護者判断に委ねられているため、対象者見込み（270名）に対し、実際の申請数が大きく下回っており（157名）、一人あたりの申請額も見込みを大きく下回っている。

○今後の方向性

- ・国は、1兆円の財源を確保した場合は、対象者を市町村民税非課税世帯（第2階層）まで拡大することとしており、国の動向を踏まえ、適切に対応していく。

○見直しの判断とその理由

- ・量の見込みの設定対象外事業であるため、設定は行わない。

1 4. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

○事業概要

- ・保育の受け皿確保や、地域ニーズに沿った多様な保育の提供を進める際に、多様な事業者の能力を活用するため、新規参入施設等の事業者への巡回支援を行う事業
- ・支援チームにより事業開始前における事業運営に関する相談・助言や、事業開始後から事業運営が軌道に乗るまでの間、保護者や利用児童への対応等に関する支援を行う。

○見直し前の計画及び実績

所管課	保育幼稚園課						
提供区域	-						
年度	25	26	27	28	29	30	31
①量の見込み	-	-	設定対象外		-	-	-
②確保の内容	-	-	設定対象外		-	-	-
②-①	-	-	-	-	-	-	-
確保方策	-	-	平成27年12月から、支援チームとして保育士を2名配置し、主に新規の地域型保育事業者を対象として巡回支援を実施する。				
③実績(実施園数)	0	0	28	53	73	※H29は見込み数	
③-②	-	-	-	-			
予算	-	-	1,372千円	4,386千円			
決算	-	-	1,348千円	4,180千円			

○平成28年度までの取組状況

- ・新規の地域型保育事業に対し、主に保育所運営や児童処遇について相談及び助言を行った。

○分析・課題

- ・保育を実施する上での必要な保育士数や、備えておくべき必要書類等、各事業者との間で認識に差がある。

○今後の方向性

- ・良質かつ適切な教育保育の提供体制の確立に向け、支援チームによる巡回支援を実施する。

○見直しの判断とその理由

- ・量の見込みの設定対象外事業であるため、設定は行わない。